

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

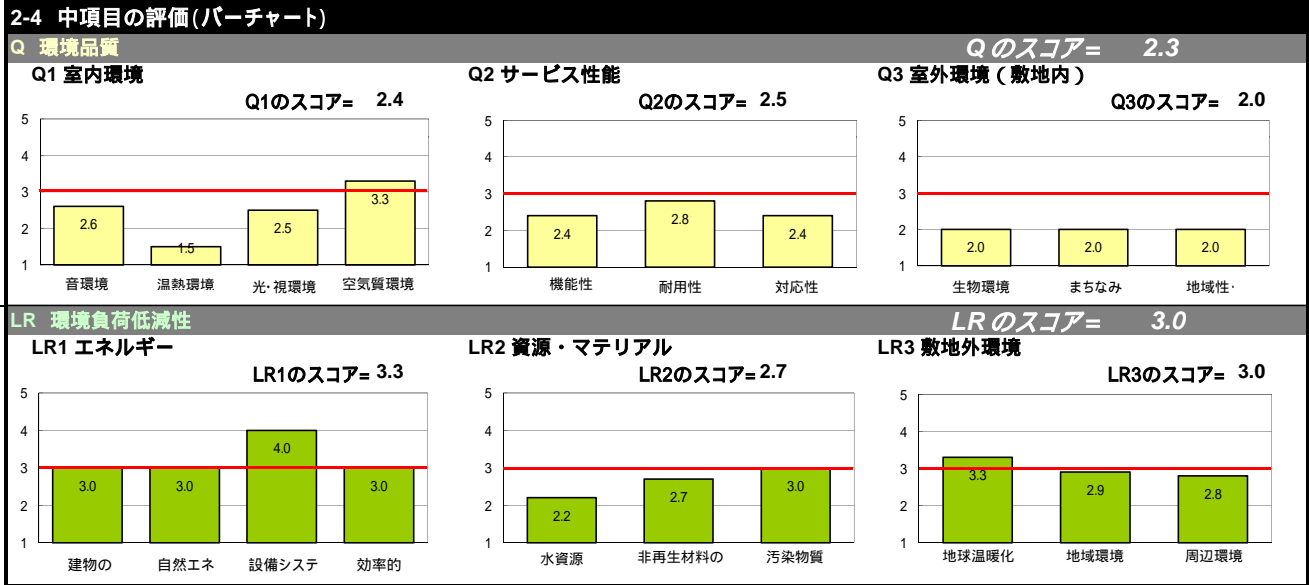
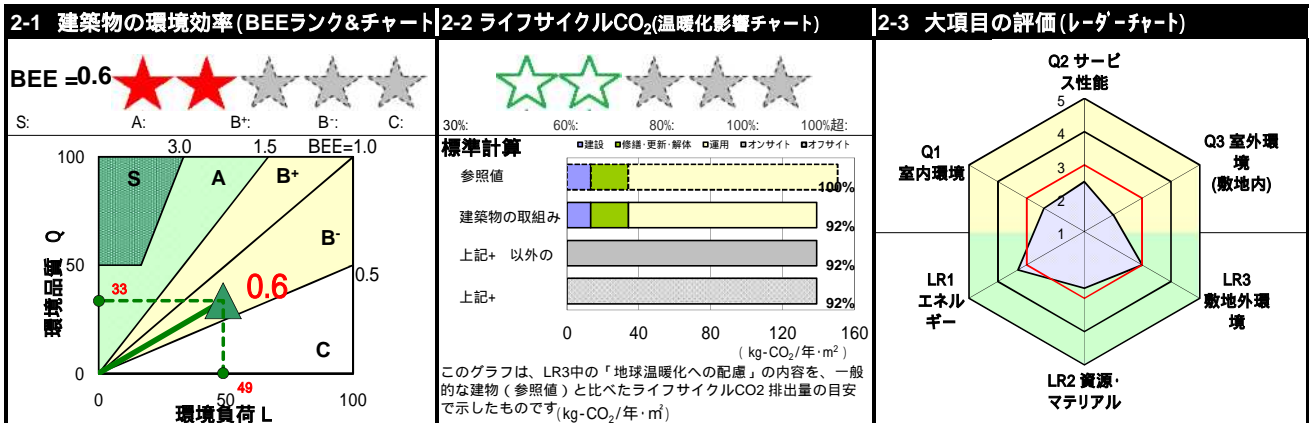
# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市平塚1丁目・サービス付高齢者向け住宅計画	階数	地上3F
建設地	平塚市平塚1丁目2番1号の一部、2番2号の一部(地各番番)	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	44 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年5月26日
敷地面積	1,269 m <sup>2</sup>	作成者	積水ハウス
建築面積	771 m <sup>2</sup>	確認日	2014年5月26日
延床面積	2,074 m <sup>2</sup>	確認者	積水ハウス

外観/バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	東側に歩道状空道を設け、周辺環境に対して配慮をおこなっています。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
バルコニーを各居室に設置した。		平塚市まちづくり条例に基づき、緑地の計画をしています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ等級3を満足している。	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	日影規制がかからない低層の建物にて建物計画をしています。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される